

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要
・教科の特性に応じて話合いの視点を明確にし、児童自身が目的意識を持って話し合いを進め、自分の考えを深めたり、広げたりできるようになってきた。今年度は、学習形態の工夫に重点を置き、児童の思考力・判断力・表現力を高めていきたい。
2 学校教育目標
“たくましく まごころいっぱい しっかり考え まなびあう” 子どもの育成
～豊かでたくましい心と体の育成と確かな学力の定着をめざして～
3 本年度の重点目標
①「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、校内研究を中心に授業改善を進める。
②集団づくりと特別支援教育の両視点から児童を育てる。
③地域のよさ(ひと・もの・こと)を活かした豊かな体験活動を行う。

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目
重点取組
評価項目 取組内容 成果指標(数値目標) 具体的取組
●学力の向上
●心の教育
●健康・体づくり
●業務改善・教職員の働き方改革の推進

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

重点取組
評価項目 重点取組内容 成果指標(数値目標) 具体的取組
○特別支援教育の充実
○開かれた学校づくり
○小小連携、小中連携の推進

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、校内研究を中心に、学習の仕方を児童自身が選択調整し、友だちと協働しながら思考・判断・表現していく活動を取り入れた授業実践を進め、普段の授業を大切にすることで授業改善を目指した。特に、学習形態の工夫に重点を置き、学習用タブレット端末を活用して思考・判断・表現ができる教材づくりをしたり、自力学習・ペア学習・グループ学習の時間を効果的に授業に取り入れたりと、児童の思考力・判断力・表現力を高めてきた。その結果、学習状況調査や各単元テストからも学力の向上が見られ、各教科以外の特別活動からも児童の思考力・判断力・表現力の高まりが感じられた。